

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%
保護者様： 17名回答、回答率 85%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・児童の成長に伴い活動によっては狭さを感じることもあるが、座って過ごすスペースと遊ぶスペースを分けるなど工夫しスペースを確保している。
- ・法令の基準を満たしているが、活動によってはスタッフ配置数を増やしたい場面もある。

○業務改善

- ・保護者会において保護者同士での話し合いの場を作ることができ、意向を把握することができている。
- ・教室内研修を定期的に行うことで、スタッフの資質向上に努めている。

○適切な支援の提供

- ・スタッフ全員が日々の療育活動について意見交換をすることで、活動の幅を広げている。
- ・課題の幅が狭くなりがちな為、状況によって様々な課題を用意する必要がある。
- ・半年に一度の支援計画の見直しをすることができている。

○関係機関や保護者との連携

- ・医療的ケアが必要な子供の利用希望がないため、受け入れがない。
- ・卒業生がまだいないため、他機関との退所後の連携をとったことがない。
- ・日々の送迎で児童の様子を細かくお伝えしたり、保護者から相談を受けたりして関係を作っている。

○保護者への説明責任等

- ・保護者会で保護者同士が話す機会を作っている。
- ・非常時には迅速に電話連絡・送迎時の説明を行うようにしている。
- ・ブログやニュースレターで日々の児童の様子をお知らせできるようにしている。

○非常時等の対応

- ・教室内研修の中で緊急時について取り扱っている。
- ・児童の避難訓練を月一徹底しているが、スタッフのみでの訓練を中々行えていない為今後研修内で行う必要がある。
- ・ヒヤリハットを職員全員が意識をもって提出することができている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・低学年の時には十分に広さがあったが、成長するにつれて少し狭さを感じる。
- ・30分でも外遊びの時間があると嬉しい。

○適切な支援の提供

- ・季節ごとに活動が計画されており、1年を通して変化を楽しんでいる。
- ・活動のプログラムが子どもの「どの部分の成長」を促しているのかが分からない時がある。

○保護者への説明等

- ・送迎時や面談時にスタッフからしっかりと児童の様子を話をしているからか、多くの評価を頂く事ができている。
- ・苦情対応については、より対応を迅速に行えるようにする必要がある。

○非常時等の対応

- ・毎月必ず避難訓練を行っている事もあり、多くの評価を頂く事ができた。
- ・非常時の対応については入会時から時間が経っているため保護者会や必要時に再共有することも必要である。

○満足度

- ・ほとんどの保護者から満足している旨のご意見を頂けている。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・保護者会の参加を促す。土日での保護者会を開催する等、保護者が集まれるような環境を作り、保護者同士での連絡会になるようにする。
- ・スタッフでの教室内研修を多く実施する。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・教室内研修を最低でも月2回ほど行うことができた。
- ・保護者会は座談会を中心に行い、保護者同士の話をする時間を多く設けた。土日の保護者会未実施、平均以上の参加人数が見込めなかった。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・スタッフ全員が療育活動に対して力を入れており、様々な活動を行うことができている。
- ・ニュースレターだけではなく、ブログも多く更新することで教室内で行っている活動を発信することができる。
- ・教室内研修を日々行うことで、スタッフのスキル向上に努めている。
- ・スタッフ同士が相談しやすい環境もあり、困ったときに話し合うことができている。意見交換も積極的に行うことができている。

○改善点

- ・療育活動についての説明がサービス提供記録だけでは伝わりにくい事がある。ブログでも「どの部分の成長を促すのか」をしっかりと描き込むことで療育活動に興味を持っていただけるようにする。
- ・体を動かす活動ができている時とできていない時がある。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・魅力的な療育活動の企画・実施していく。
- ・苦情・ご意見があった際の対応をスタッフ全員が行えるようにする。

○1年間で取り組む具体策

- ・療育活動について児童それぞれの達成度をわかりやすくサービス提供記録に記載をしたり、ブログを通じて療育の目的を含めて活動を紹介したり、送迎時に説明を行う。
- ・教室内研修を月3回以上行うことでスタッフ全員の能力向上に努める。

スマートキッズ